



かたしな

# 議会だより

## CONTENTS

- ◆ 第6回、第7回臨時会で決まったこと ..... 2
- ◆ 第8回定例会（12月議会）で決まったこと ..... 3 ~ 4
- ◆ 一般質問 ..... 5 ~ 6
- ◆ 常任委員会 ..... 6 ~ 8
- ◆ 委員会行政視察報告 ..... 9 ~ 11
- ◆ 中学生議会 ..... 12 ~ 15
- ◆ 議案内容及び議決一覧 ..... 16
- ◆ 村内要望箇所現地視察・ようこそ有権者 ..... 17
- ◆ 議会活動日誌 ..... 18



# 決まったこと

第6回臨時会  
第7回臨時会

## 令和4年第6回臨時会（10月4日開催）

令和4年第6回片品村議会臨時会を開催しました。執行部から「工事請負契約の締結」が提案され、原案どおり可決しました。

### 工事請負契約の締結

- 1, 契約の目的 令和4年度 細工屋橋 橋梁耐震・耐荷補修工事
- 2, 契約の方法 指名競争入札による契約
- 3, 契約金額 金124,300,000円
- 4, 契約の相手方 群馬県利根郡片品村大字須賀川7番地1  
角田建設工業株式会社  
代表取締役 角田恵子
- 5, 工 期 契約の日から令和5年3月24日まで

## 令和4年第7回臨時会（11月1日開催）

令和4年第7回片品村議会臨時会を開催しました。執行部から「工事請負契約の締結」「専決処分の承認」が提案され、それぞれ原案どおり可決、承認しました。

### 工事請負契約の締結

- 1, 契約の目的 北部浄化センターし尿・浄化槽汚泥等投入設備工事（第2工区）
- 2, 契約の方法 指名競争入札による契約
- 3, 契約金額 金231,000,000円
- 4, 契約の相手方 群馬県前橋市荻窪町785番地6  
環境システム株式会社  
代表取締役 吉澤 力
- 5, 工 期 契約の日から令和5年3月31日まで

### 専決処分の承認（一般会計補正予算（第5号））

歳入歳出補正前	補正額	補正後
40億1,819万円	6,736万6千円	40億8,555万6千円

### ★主な歳入

地方交付税 3,377万3千円

国庫支出金 3,359万3千円

新型コロナウイルス感染症対策  
地方創生臨時交付金

### ★主な歳出

生活支援対策事業費 6,616万6千円

新型コロナウイルス特別対策  
事業者支援交付金

保育所費

120万円

片品保育所の改修工事費

# 第8回定例会

【12月定例会】

# 片品村議会で

令和4年第8回片品村議会定例会（12月議会）を、12月2日～9日までの8日間にわたり開催しました。条例の制定、条例の一部改正、令和4年度一般会計及び3特別会計の補正予算等の議案が提案され、いずれも全員賛成で可決されました。

## 条例の制定

※片品村個人情報の保護に関する法律施行条例の制定

国の個人情報保護制度関連法が統合され、地方公共団体においても全国的な共通ルールが規定されたことに伴い、個人情報に関し必要な事項を定める条例を制定するもの

※片品村情報公開・個人情報保護審査会条例の制定

国の個人情報保護制度関連法が統合され、地方公共団体においても全国的な共通ルールが規定されたことに伴い、村の情報公開・個人情報保護審査会の主な役割について、現行とは変更となることから条例を制定するもの

※片品村職員の高齢者部分休業に関する条例の制定

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年年齢の引き上げが実施されることから、高齢期の職員の働き方に関し、一週間の勤務時間の一部について部分休業を認めることができることとする条例を制定するもの

## 条例の一部改正

※片品村議会議員及び片品村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正

物価高騰を起因とした公職選挙法施行令の一部改正があり、本村もこれに準らない条例の一部を改正するもの

※片品村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、引用条項を改正するため、条例の一部を改正するもの

※職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、60歳以降の降任に関する事項を改正するため、条例の一部を改正するもの

※片品村職員の定年等に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、定年年齢の改正のほか、情報提供・意思確認、定年前再任用短時間勤務や暫定再任用職員の任用、改正後地方公務員法からの委任事項等も規定、条例の一部を改正するもの

※職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、減給の効果に関する事項を改正するため、条例の一部を改正するもの

※片品村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、「再任用短時間勤務職員」を「定年前再任用短時間勤務職員」とする用語の置換え事項の改正等をするため、条例の一部を改正するもの

※片品村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、「再任用短時間勤務職員」を「定年前再任用短時間勤務職員」とする用語の置換え事項の改正等をするため、条例の一部を改正するもの

※外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、地方公務員法を引用する箇所の改正等をするため、条例の一部を改正するもの

※公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、地方公務員法を引用する箇所の改正等をするため、条例の一部を改正するもの

※片品村職員の給与に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、60歳以降の給与に関する事項を改正するため、条例の一部を改正するもの

※片品村職員の寒冷地手当に関する条例の一部を改正

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、暫定再任用職員を寒冷地手当の対象外とする経過措置を改正するため、条例の一部を改正するもの

※議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正

人事院勧告に基づき、期末手当率の改正を行うため条例の一部改正をお願いするもの

※片品村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正

人事院勧告に伴う給料表の改正が行われ、遡及適用に係る差額分を支給するため条例の一部を改正するもの

※特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正

人事院勧告に基づき、期末手当率の改正を行うため条例の一部を改正するもの

※片品村職員の給与に関する条例の一部を改正

人事院勧告に基づき、期末手当率の改正及び、給料表の改定を行うため条例の一部を改正するもの

※片品村フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正

人事院勧告に伴う給料表の改正が行われ、遡及適用に係る差額分を支給するため条例の一部を改正するもの

※片品村国民健康保険税条例の一部を改正

新型コロナウイルスの影響による国民健康保険税の減免を、令和4年度についても実施するため条例の一部を改正するもの

※片品村介護保険条例の一部を改正  
個人情報保護制度関連の法令等の改正に伴い、要介護認定等の認定資料の閲覧方法を改正するため、条例の一部を改正するもの

## 条例の廃止

※片品村職員の再任用に関する条例を廃止

職員の定年年齢を引き上げる地方公務員法の一部改正に伴い、条例を廃止するもの

※片品村奨学資金貸与に関する条例を廃止

幅広い奨学支援を受けることができるように、次年度から奨学金に代わって民間金融機関等の教育ローンを活用してもらうため、片品村奨学資金貸与条例を廃止するもの

## 規約の変更

※利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議

利根沼田広域市町村圏振興整備組合で行う業務に、新たなごみ処理施設及び付帯施設の設置に関する事務を規約に加えるための協議

※利根東部衛生施設組合の規約変更に関する協議

新たなごみ処理施設及び付帯施設の設置に関する事務を、利根沼田広域市町村圏振興整備組合で行う予定であるため、利根東部衛生施設組合の規約から当該事務を除外するための協議

## 専決処分の報告

### ※変更請負契約の締結

令和3年10月28日開催の議会臨時会、議案第48号で承認された工事請負契約について、変更請負契約を専決処分により締結したことの報告

○工 事 名：細工屋橋 橋梁耐震 耐荷補修工事  
○変更前契約金額：104,500,000円  
○変更後契約金額：108,801,000円

## 陳情審議結果一覧

12月定例会において審議された陳情は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	陳情者	付託委員会	審議結果
令和4年10月26日	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	群馬県前橋市本町3-9-1 群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 出浦 匠人	産業民教 常任委員会	趣旨採択
令和4年11月2日	学校給食費の無料化を求める陳情書	群馬県沼田市下ノ町888番地 全群馬退職教職員の会 利根支部 支部長 持田恭子 及び 群馬県利根郡片品村菅沼493番地1 大竹ふみ江	産業民教 常任委員会	採択
令和4年11月10日	女性農業者の農業委員登用に 関する要請書	ぐんま農村女性会議 会長 山形ちづ代 男女に輝く利根沼田ネットワーク会議 会長 金井洋一	産業民教 常任委員会	採択

## 一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出補正前	補正額	補正後
40億8,555万6千円	1億672万1千円	41億9,227万7千円

### ★主な歳入

地方交付税	1億2,619万円	
国庫支出金	3,248万5千円	住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、社会資本整備総合交付金ほか
村 債	△5,490万	臨時財政対策債の減額

### ★主な歳出

総務費	6,805万3千円	燃料券の支給事業、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業ほか
民生費	755万6千円	障害者扶助費ほか
土木費	730万6千円	道路維持修繕費、除雪費ほか
教育費	1,024万7千円	社会体育推進事業、給食センター修繕料ほか

## 特別会計補正予算（第2号）

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
国民健康保険特別会計	7億6,663万2千円	20万6千円	7億6,683万8千円
簡易水道事業特別会計	1億1,997万9千円	450万円	1億2,447万9千円
下水道事業等特別会計	4億5,425万4千円	250万円	4億5,675万4千円



村政を問う！

## 一般質問



星野 吉弥 議員

今年2月のロシアのウクライナ侵攻。他国の戦争が世界経済そして日本経済、更には私たちの身近な生活・経済へと影響を及ぼし世界は一つの経済循環だと痛感しています。早い段階での戦争終結と経済の安定を願い、質問させていただきます。

## 村内事業継続支援について

**問** 「片品村ががんばる事業者応援給付金【第3弾】」物価高騰対策版の事業者別交付実績は、どうなりましたか。

**答** (村長)

第3弾の『がんばる事業者応援給付金』の実績は次のとおりです。

	給付件数	給付金額	現金支給分	商品券
宿泊事業者	150件	2,640万円	令和4年 11月28日 振込済	12月 発送済
農業者	108件	1,460万円		
その他事業者	150件	2,020万円		
合計	408件	6,120万円		

(表-1)

今回の給付金は原油や物価の高騰により大きな影響を受けている村内事業者に対する事業継続等を応援する目的から、かなり効果のあった事業であると感じています。今後冬を迎えるにあたり灯油・ガスなどの支出が増える時期となりますが、次の施策として

## テーマ

## 事業継続支援、子育て世帯福祉医療費支援について

各家庭の経済的負担軽減策を検討しています。

## 星野吉弥議員

今回の給付金【第3弾物価高騰対策版】はアイデアや給付時期のタイミングも良く、村内事業者全般にわたっての支援策で多くの村民から絶賛のお話も聞かれました。また、昨年同様、燃料券の生活支援についても村当局の特段の配慮をお願いします。

## 子育て世帯（高校生世代）福祉医療費支援について

**問** 中学生以下の医療費は2009年群馬県の主導で県下自治体35市町村全てで無料であるが、近年、県内自治体の多くが高校生世代の医療費無料化を独自に制度化するケースが増えていきます。今後、当村も制度化を進めていくべきと考えますが、いかがでしょうか。

**答** (村長)

福祉医療費支給制度は、子どもや重度心身障害者、または母子家庭等、一定の要件を満たす方の医療保険の一部自己負担額を無料化する制度で、県と市町村がそれぞれ2分の1を負担しています。

現在、本村での福祉医療費支給制度の対象となる子どもは、母子家庭や父子家庭を除き、群馬県の制度と同様に中学校卒業までとしています。しかし、本年4月時点での県内他市町村の状況は、入院・通院ともに対象年齢を18歳の

年度末までは9市町村、入院のみの対象年齢を18歳の年度末までが、8市町村で県内の17市町村が独自に対象年齢を引上げています。利根沼田管内の現状は、みなかみ町が入院のみ18歳の年度末まで、本村を含む他4市村は、検討中のため、管内で統一した対応を取れるよう協議を進めているところ です。

本村としては、子どもの健康保持、増進のためにも医療費の心配をせずに、医療機関を受診できることは大変重要と考える一方で、不要な受診が増え医療費が増加することも懸念されますが、対象年齢の引き上げについては、前向きに検討していきたいと考えております。

なお、高校生世代の医療費無料化については、国による一律の制度でないため、県や市町村により、その内容に差が生じるのは好ましくないと考えています。

国は、令和5年4月には、こども家庭庁を設置し、子育て世帯への支援を充実していくと思えますので、福祉医療費支給制度の見直しについても国の動向を注視し、周辺市町村と共に、国や県に要望していきたいと考えております。



星野吉弥議員

近年の少子化を考えると、本来、国が制度として統一すべきと考える問題だと感じます。今後他の市町村と連携し、さらに議長には町村議長会からも要望活動をお願いします。

## 農業用生産資材の

## 高騰対策について

**問** 国・県等主導の農業資材高騰対策により「肥料・飼料・燃料」の補填が進められましたが、当村の作物形態から資材高騰が来年度以降の農業経営に更に厳しく影響するものと思えます。次年度のハウスピニール・マルチ・ダンポール等の生産資材全般の価格上昇に対し、県・国等へ他市町村と連携した補填対策要請活動や、次年度以降の管内生産者への補填を進めるべきと考えますが、いかがでしょうか。

答(村長)

本年8月に県が窓口となり、農業経営への影響を緩和するため「肥料価格高騰対策事業」が実施されました。

これは、本年6月から10月に注文した秋の肥料分について、化学肥料の使用量を減らす取組を行う条件付きで、昨年から値上分の一部を国が支援金として交付し、来年春の肥料分につきましても交付対象となる予定です。

村としては、今回の「がんばる事業者応援給付金」で、コロナ禍で大きな影響を受けている全事業者に対し、燃料や資材等の購入費の一部を支

援し、今後の事業継続等を応援するため給付金交付を行いました。なお、農業者の実績は、108件、金額1千4百60万円でした。(表1)

ご指摘のように、来年度以降の農業経営に、資材高騰の影響が非常に懸念されますが、関係機関、管内市町村が連携し、農業者の経営基盤の安定に向け、肥料に限らず生産資材全般について、価格上昇分は高騰対策の補填対象となるよう、国や県へ強く要請して行きたいと考えています。

星野吉弥議員

今年の10月末片品出荷所販売実績は、野菜及び花卉の合計で14億2千万円余り、昨年度末12億3千万円に対し115.4%と厳しい栽培条件下、農家の努力により好成绩と感じています。この要望活動については、私も利根沼田農協更には群馬県農協中央会等へも組織要請活動として取り組みを依頼していきますので、ご指導をお願いいたします。



## テーマ

## 農業用生産資材の高騰対策



## 総務観光常任委員会

## 委員が慎重討議しました

## 協議事項

## 所管事務について

**問** 奥鬼怒スーパー林道の活用について、以前は通行証を利用していたが、最近では利用しにくくなっているようなので、お互いの観光、災害協力のためでも利用を促進し活用を広げていければ便利になるのではないか。

**答**(むらづくり観光課長)

現在も例年6月1日から10月31日までの間の車両通行については、通行証を交付して通行を許可しています。ここ数年大雨等による修繕工事等のため、通行できる期間が短くなっています。また道路の管理には令和元年から3年間で約3千万円の工事費用がかかっています。

活用については、加仁湯、八丁の湯と片品村方面との相互での送迎や、自転車のイベ

ント等で林道を利用することが考えられます。一般の車両の通行は管理上難しいと思いますので、環境省や関係機関と協議して、有効活用できるような、今後も検討していきたいと思えます。

**問** 武尊山の片品村側からの登山道の状況があまり良くないとのことなので、整備をして登山客の増加に向けて対応していただきたい。





**答**(むらづくり観光課長)

武尊山の登山道につきましては、花咲湿原と田代湿原などを含めて、武尊自然観察遊歩道と一緒に管理を行っています。主に草刈りを行うことで整備を行っています。武尊キャンプ場側については2、3年に1回、オグナほかかスキー場から前武尊については毎年、委託事業で整備を行っている状況です。そのほかに武尊山スカイビュートレイルの大会の時に実行委員会が整備を行っているとのことですが、また、危険箇所などの情報があった場合には、その都度確認して整備を行っています。

**問** マイナンバーカードの11月末申請の交付率と交付枚数について教えてください。

**答**(住民課長)

11月30日現在、交付率59.3%で県内の自治体で2番目、交付枚数につきましては2,482枚です。

12月には65%くらいの村民の方に取得していただけるよう引き続き取り組んでまいります。

**問** 台湾へは数年前、村長を筆頭に観光業者や関係者で片品村のトップセールスということで、訪問してきたが、コロナや訪問先の諸事情などで関係が途絶えている。JTBや村内関係者などと協力し、コロナが終息した後のために、再度トップセールスをお願いできないか。

**答**(村長)

台湾に関しては、11月に県の農政の方々が訪問しましたが、今では農産物も輸入できるようになり、片品村からの農産物では、リンゴが有望だそうです。ただ、絶対数が足りないもので、どのくらい確保できるかが課題となりそうです。

観光に関しては、来年、台北の中学生が来村することになりました。また、以前連携していた埔心郷(ホシンゴウ)の中学校も含めて、台中や台北、それと新しくできた桃園の空港を設計したのが、戸倉の小水力の発電所を設計した團紀彦先生ということもあり、桃園市と交流の話があるというところなので、2月には台湾に行ければと思っております。

台湾との交流は非常に大事だと思っておりますので、議会の皆様方にも協力いただき、交流をしっかりとできるような状態にしていきたいと思っております。

**問** ふるさと納税寄附金の返礼品の取扱いについて、道の駅の直売所が農産物を返礼品として取り扱っているが、提供者として登録をしているのかどうか。また、直売所を通して納入している生産者は手数料が発生していて、直接の提供者との矛盾があるのか、窓口を統一したらどうか。

**答**(総務課長)

直売所は提供の事業者となつています。全ての返礼品は村で製造された商品や、村で作られた農産物を返礼品として取扱いをしています。直売所では多種の農産物を取り扱っており、詰め合わせ等は個人では難しいところがあるため、道の駅が提供事業者となり発送している状況です。また、道の駅で販売しない商品については、個別にこちらから声をかけさせていただき、事業者から返礼品として登録してもらい、発送しております。

**問** 片品村の美しい景観を守り育てる条例について、村でゼロカーボン宣言をし

たが、その後、農地への太陽光発電施設の新設が目立ってきている。景観等への影響、耐用年数経過後の廃棄についての規制はどうなっているのか。



**答**(むらづくり観光課長)

片品村景観計画で太陽光パネル景観形成基準というものがあります。耐用年数経過後については、片品村の美しい景観を守り育てる条例施行規則で撤去、廃棄を含む事業計画の提出を必要とし、立てたまま放置することがないように指導を行っています。

設置許可については、施行規則に記載されている書類が一式そろっていて、提出された書類に条例に反する内容がない場合には、許可を出すということになります。また、設置地盤や流末処理などの問題は農林建設課に相談してもらっている状況です。農地については、農用地区域内農地から第1種農地の生産性の高い優良農地は、原則農地転用ができませんということになります。また、生産性の低い市街地近郊及び市街地の農地については原則許可になります。村の農業委員会としては、許可申請の問合せの時に対象農地を確認し、指導を行っているということです。

現在の景観条例だけでは規制が難しいので、他の自治体の状況等も確認しながら、今後、適切な対応を検討していければと考えています。

(委員長 萩原 和典)



# 産業民教常任委員会

委員が慎重討議しました

## 協議事項

所管事務について

**問** 高齢者や母子家庭世帯の屋根の雪下ろしについて、補助等ができないかという話を以前させてもらったが、その後どうなったか。

**答** (保健福祉課長)

1世帯2万円で50世帯分を今回の補正予算に計上させてもらいました。対象者については村民税の非課税世帯で65歳以上の人のみで構成する高齢者世帯や障害者手帳を有する者のみで構成する障害者世帯、母子世帯で義務教育課程終了前の子と構成する世帯の方を対象者として考えています。補助の要件は、積雪量がおおむね70センチを超えて、雪下ろしをしないと災害のおそれがあると判断した場合に、対象者が第三者に費用を支払って雪下ろしを実施した場合



は、費用の2分の1で、1年間1世帯につき2万円を限度に補助をすることを考えています。

**問** 業者を頼んだ場合、1回の雪下ろしで最低4万円くらいか、高齢者の家は年に3回くらいは下ろしているの12万円くらいはかかる話になる。そのあたりも踏まえて、もう少し支援してもらえればと思うが。

**答** (村長)

初めてやることなので、まずは、このような形で実施してみても、その年によって状況も変わってくると思いますので、足りない分に関しては、また、3月の補正予算で議員の皆さんにお願いするというように考えております。

**問** スクールバスでの園児の置き去り事故があったが、国の予算で総額234億円を保育園のバスの安全対策として、1台につき18万円の補助金を交付することである。片品村でもスクールバスに園児が乗っているが、その対策はどのようなになっているか。

**答** (教育委員会事務局長)

現在、スクールバスを利用して、園児の送迎をしています。



すが、送迎の後には、忘れ物の確認や消毒、換気などで、バスの中は必ず見ていることに加えて、保育児童が利用している場合は、保育士も必ず同乗しています。したがって、安全確認は徹底できているという認識なので、装置の装着については、現状では検討していません。

**問** 空き家対策に関して、高崎市では、空き家解体助成金として、おおむね10年以上空き家状態であることが確認でき、周囲に危険を及ぼすおそれがある老朽化した戸建て住宅に対して、解体費用の5分の4、上限100万円を助成するということだが、これらを参考に、もう少し踏み込んで検討していただきたいと思うが。

**答** (農林建設課長)

空き家対策については、むらづくり観光課で、空き家に入りリノベーションする場合に、補助金を交付するという取組を今年度から行っておりますが、その中に解体は含まれておりません。

危険な建物についての把握はしており、まずは空き家対策の協議会を立ち上げて、その中でいろいろと協議をしない



ければならないということがあります。その協議会については、弁護士や建築士など、不動産に関する学識経験者等を入れながら協議会を設立するということが決まっておりますので、そのあたりも勘案しながら、踏み込んだ対応を検討させていただきます。

(委員長 千明 勉)





# 総務観光常任委員会

## ～行政視察報告～

### ■視察の目的

- (1) 人口減少対策について
- (2) 空き家の有効活用について
- (3) 忠別ダムの活用について
- (4) 旭岳の噴火を想定した避難訓練の実施状況について
- (5) 三千櫻酒造の誘致について
- (6) 株式会社イワクラの木材利用について

### ■視察の期間

令和4年11月7日～9日

### ■視察の場所

北海道東川町、苫小牧市



### ■視察先の概要

#### (1) 人口減少対策について

東川町の移住定住政策は、税務定住課が担当窓口となり進めています。ただし、移住定住への取り組みは幅が広いので、町のあらゆる分野で協力していくことで効果を発揮しています。主な政策として、教育施設環境の充実があります。校舎の整備もそうですが、周囲に体験農場や果樹園の整備など、児童が体験して学ぶ教育に力を入れていると感じました。その一つに、食育として児童が農場で作った作物を給食に利用するといったことがありました。その他にも、様々な子育てと教育の切れ目

人口の推移	片品村	東川町
平成5年	6,332人	7,063人
平成10年	6,378人	7,408人
平成15年	6,033人	7,551人
平成20年	5,515人	7,818人
平成25年	5,012人	7,948人
平成30年	4,513人	8,382人

のない支援を行っています。環境の充実した「この学校で学ばせたい」という30・40代の子育て世代の移住が増え、50人ほどの出生数が、入学時には70人ほどに増えていきます。また、49名が地域おこし協力隊として、それぞれに事業が与えられ活動しているようです。



#### (2) 空き家の有効活用について

空き家対策としては、流動化事業交付金制度というものが、賃貸、売買の際のリフォーム代や片付け費用に上限20万円を交付しています。空き家の環境整備をして有効活用することにより、空き家物件のニーズも高まり、官民連携しながら物件情報の橋渡しをしています。

コロナ禍で働き方が変わり、こうした時代のニーズに合わせた取り組みの一つとして、旭川空港から10分、首都圏から2時間と立地条件の良い東川町は、二拠点生活にも適していることから、サテライトオフィスや2022年5月に役場庁舎隣接地に併設しました。都市部の企業等を中心に、町に定着したい企業と新たに町に進出したい企業が占有できる滞在機能型サテライトオフィスを整備し、進出企業の定着と社員等の移住に結びつけ、働く場を提供して町の移住増を図っています。



#### (3) 忠別ダムの活用について

忠別ダムは東川町・東神楽町・美瑛町の3町が接する忠別川に建設した多目的ダムです。

市街地と旭岳の中間にあり、特にダムの周りには観光施設等はありませんが、カヌー体験やトライアスロンの大会等自然を生かした利用に活用しているようです。

#### (4) 旭岳の噴火を想定した避難訓練の実施状況について

旭岳の火山噴火を想定した避難訓練を10月12日に実施し、午前中に住民対象の避難訓練、午後には北海道主催の大雪山火山噴火防災総合訓練が行われました。避難誘導や避難所の開設・運営訓練など、実際の動きを体験することは非常に重要なことです。

片品村にある日光白根山も常時観測対象になっていますので、万が一に備え避難訓練を行う必要があると思います。

#### (5) 三千櫻酒造の誘致について

岐阜県中津川市の「三千櫻酒造」が2019年に東川町に移転し、2020年11月に全国でも珍しい公設民営型酒造が誕生しました。公設民営型酒造とは、自治体と民間が協力してつくる酒蔵のことで、建物は東川町が建設し、三千



櫻酒造が運営しています。米と水がおいしい東川町が日本酒造りを熱望し、公募で名乗りを上げた三千櫻酒造と二人三脚で酒蔵を作り上げました。地元にある資源を活用したこの取り組みは、今後の企業誘致等の参考になると感じました。

### (6) 株式会社イワクラの木材利用について



苦小牧市の株式会社イワクラは、川に例えると川上の木の伐採から川下の木材・木質製品の生産を一括して行う全国でも珍しい総合木材業の会社です。戦後から昭和30年代には、片品村にも岩倉組として事務所があったそうです。樹種を問わず木の幹・枝・根全てを社内各部門で使いこなし、唯一廃棄しているものは灰だけだそうです。



### ■視察の結果

東川町は移住者が多く、各メディアでも紹介され注目されています。30年前から、東川町に合ったそれぞれの取り組みを移住政策とともに進め、まちづくりをしてきたことが魅力となり、移住者の増加に繋がっています。片品村でも独自の片品らしい魅力ある政策を考え、行政と民間が協力・連携し、それぞれの特性を活かしながら、村づくりをしていくことが重要だと感じました。

また、水を活用した企業誘致や株式会社イワクラの木材利用等、どちらも片品村にもある資源ですので、これらを参考にし、これからの片品村の発展に活かせればと思います。

## 産業民教常任委員会

### ～行政視察報告～

#### ■視察の目的

- (1) 社会福祉法人道南福祉ねっとが運営するグループホームについて
- (2) 道の駅なないろ・ななえの概要及び運営について
- (3) 株式会社はこだてわいのん取り組みについて

#### ■視察の期間

令和4年11月7日～9日

#### ■視察の場所

北海道七飯町



### ■視察先の概要

#### (1) 社会福祉法人道南福祉ねっとが運営するグループホームについて

道南福祉ねっとのグループホームは、2007年に七飯町で「グループホームすみれ」を開所し、空き家等を活用しながら事業を進め、現在では、事業所として3事業所を開設、合計24もの施設を有し、利用定員134名で運営しています。住宅街の中で、各ホームの定員も2名から10名と、一般

家庭の人数を意図した規模で生活をする施設運営を行っています。利用者についても、障害の種類や軽重等を問わず、あらゆる方が利用しています。グループホームでは、利用者個々の状況に応じ、夜間も職員が常駐してサポートするホームと、一定の設備を備えた施設のもとで職員が巡回でサポートをするホームがあります。七飯町では、障害福祉サービスはもとより、介護保険サービスにおいても町営のグループホームはなく、すべて民間の事業所による運営となっています。



## (2) 道の駅なないろ・ななえの概要及び運営について

2021年度道の駅チエツクインランキング（利用者数）、北海道内1位、2022年度の駅総合満足度、北海道内2位と大変人気のある「道の駅なないろ・ななえ」の運営について視察しました。

この道の駅は、函館と札幌を結ぶ国道5号の沿線の町・七飯町に平成30年に開業しました。平成30年度には100万人が利用、平成31年度99.6万人、令和2年からはコロナの影響により減少しましたが、それでも75万人、令和3年度は85万人、令和4年は10月までに85万人が利用しています。敷地2.2ヘクタール、建物の延面積は約1,000平方メートルで、特産品売り場、飲食テナント、トイレ等があり、駐車場は180台分のスペースのある、ゆったり感のある道の駅です。

総建設費約10億円、運営は町から指定管理者として委託された「一般社団法人七飯町振興公社」です。道の駅が計画された平成29年5月に、七飯町商工会、七飯町物産振興協議会、地元農家代表12名等で組織する「一般社団法人七飯町振興公社」を設立しました。



町からの出資金はゼロ、役員を振興公社の役員や天井下り先として出向させることは前提になく、完全な独立採算の民間企業です。唯一、町が関わっていることは、道の駅の中でトイレや駐車場等利益を生まない施設の維持・管理にかかる費用を、町の予算から年間2,220万円の上限を設けて、指定管理料として支出しています。

七飯町振興公社は、これまで毎年、黒字経営が続いていますが、その利益を町に納付する取り決めはなく、全額を公社の利益とし、独立採算の会社として、町と一線を画しています。



## (3) 株式会社はこだてわいんの取り組みについて

「はこだてわいん」は、1973年に「駒ヶ岳酒造」として設立。以来、葡萄からつくる本格的なワインはもちろんのこと、大地の恵みである様々な果物を原料としたフルーツワインを造っています。現在、多様化する国産ワイン市場において、いかにして個性を確立するか、オリジナリティを指すが問われています。北の大地「北海道」の企業として、常に「開拓者」であることを意識しつつ、日本人の味覚に合う「日本のワイン」を目指しているということです。

### ■視察の結果

全国で少子高齢化が加速する中、高齢者福祉については2025年が一つの区切りであり、2040年に高齢者人口のピークを迎えます。介護福祉施設等に入居したくても入居できないのが現状ですが、

待機難民がさらに増加してることが予想されます。今からでも、これらの現状に則した保健福祉行政、介護福祉政策を進め、民間が無理であるならば、村主導でグループホーム等の事業を進めていた、きたいと思えます。

「道の駅なないろ・ななえ」の視察を通して学んだことについては、片品村振興公社株式会社は、村から85%の出資により設立した第三セクターの会社ですが、令和2年度まで村が経営、人件費を含む運営にかかる費用を村が振興公社に支出し、運営を委託してきました。令和3年度より経営は村から振興公社へ変更となり、独立採算を目標に経営することを議会からも提案をしました。片品村は、トイレや駐車場等の利益を生まない施設の維持・管理について協定書を交わし、毎年、委託費として一般会計より支出しています。その他に令和3年度、令和4年度の赤字を補填しています。したがって、体制や契約内容について、再考の余地があるのではないかと思います。

また、歴史ある「はこだてわいん」を視察し、改めてブドウづくりに対しての奥深さを感じました。これから始まる山ぶどうの生産に、ぜひとも活かしていければと思います。

# 令和4年度片品村中学生議会



## 提案 ふるさと納税と 観光について

私は、ふるさと納税と観光について提案しました。この事を提案して、私は色々学んだことがあります。提案をするための課程で片品

の事について調べました。ふるさと納税で結構稼いでいることが分かりました。

また、まだ私達が知らなかったことも学べました、そして、提案しました。村長は、私たちの提案の内容をとてても良いと褒めてくださり、考えた甲斐があったと思います。この体験は確実に将来に役立つと思います。この経験を今後の生活にも生かしたいと思えます。

私は、片品村のふるさと納税の収入について提案しました。僕は、中学生議会をしてみて、すごく勉強になりました。始まる前は発表できるか心配で、前の班の発表を見てるとみんなできていたので、ものすごく緊張してました。自分たちの番になって緊張して自分たちのやつを発表して一番よくできたので、すごく満足いく発表になりました。

私は、ふるさと納税について提案しました。

片品の農業を生かした農業体験ツアーをチケットにしてふるさと納税で返礼品として出すというものでした。村長の答弁で検討してくれたので良かったです。他のグループの提案もしっかりと分かりやすく、特に、はげ盛りに関しては生徒である自分でも興味

が持てるような内容でした。村がより良く素晴らしいと言えようになっています。もりたいです。自分でも、できることがあれば片品に間に協力したいです。

私は、観光業について提案しました。元々片品は好きでしたが、中学生議会を通して中学生の

思いを真剣に考えていただけると思い、嬉しく感じました。また、初めて議場に入りましたが、議長が一番上、その他の方々が下という位置になっていて、話を取り切れる人が上なのかと思いました。議会をするまで一ヶ月ほどありましたが、みんな話

令和4年11月24日(水) 令和4年度片品村中学生議会が役場2階議場で開催され、26名の生徒が議員となり活発な提案をしていただきました。議会終了後、生徒に「中学生議会を通して考えたこと、学んだこと、これからの生き方、村への関わり等」について、各々の思いを書いていただきましたので紹介します。

合い片品をより良くしたいと考えた結果、とても良い提案内容ができたと思います。ですが、議場で話したらとても緊張して練習の時のようにできませんでした。前よりはスムーズに話せましたが、その点はまだまだだと思えました。これからは、もっと公民の地方自治を学び、片品の現状を確認できるようにになりたいと思います。村へ提案できるのは今回だけだと思つたので、貴重な体験をしたと思えました。

私は、ふるさと納税で観光につなげることに提案しました。

私たちの班では、ふるさと納税の返礼品として、体験できるツアーなどのチケットを登録して欲しいことを、色々なサイトや資料を見比べて提案する準備をしてきました。自分たちで頑張つて調べてきた提案を議会で発表する時、緊張しドキドキが止まらなく練習通りに上手く言えたかと

でも不安でしたが、村長から「検討する」と言われた時、とても楽しく安心しました。自分たちの意見が村のためになると考えられると思うと、片品村の住人で良かったなと心から思いました。片品村は私たちの一番の故郷です。小さな村のいいところをより多く生かして、私たちの村が輝いていって欲しいです。貴重な体験ができて良かったです。







## 提案 働き世代の 運動と健康

私は健康について、また運動について提案しました。具体的には、片品村の30から50歳代の人は運動不足であると推測し、ウォークラリーを実施してもらおう提案をしました。結果として納得のできる内容が返ってきてよかったです。

私は、働き世代の方がバランスの良い食事をとるために、中学生議会をして、改めて村の大切なことを決めるのは大変なことなんだと感じました。議会がとても楽しかったです。

です。

私たちの提案を、村長さんにとっても褒めていただけ、とても嬉しかったです。四人で力を合わせて、準備をたくさんしたので良かったです。これからの片品村が少しでも良くなったら嬉しいです。今までは、片品村についてよく知らなかったし、あまり興味を持たなかったけど、議会を通してもっと私の村を大切にしようと思います。片品村を守るために、片品村がさらに良くなるように、私たち中学生もできることがたくさんあると知りました。議会は、これからもうできないかもしれないので、とても貴重な時間を過ごすことができました。今まで以上に片品を大切にします。

私は、働き世代の運動について提案しました。

とても偉い大人の方の前で提案して緊張したけど、いい経験ができました。私が思ったことは提案することを考えたり、資料を作ったりする私たちも大変だけど、一番大変なのは、私たちが提案することを答えてくれる大人の皆さんなんだと思いました。私は正直に言うと、今まで片品は田舎だからと言って片品村を嫌っていました。議会を通して片品村への思いが

変わりました。たぶん、議会をやっていないければ、私の片品村への思いは変わっていません。これからは、片品村はいい村だと思っています。

私は、健康について提案しました。

中学生議会をやってみて、すごく重要な議会なんだなと思えました。小さくても輝く村を目指すために、たくさんの方が関わっていると知り、私たちにできることがあれば、どんなに頑張りたいかと思いました。班のメンバーで、多くの時間をかけて準備してきたものが、将来、片品で行われていたら嬉しいなと思います。



## 提案 片品村の キャッチフレーズ

私は、片品村のキャッチフレーズについて提案しました。中学生議会を通して、議会をするために準備は大変でちゃんとやらないとダメなんだなと思えました。しっかりとやらないとスムーズに出来ないんだと感じました。そして、議会があることはすごく重要だと思えました。片品を良くするため、いろんなことをしていると知りました。世界までと言っていたので、相当力を入れていくんだと思えました。

これから片品村を出て行くことがあるかもしれないけど、自慢できるくらい、誇りを持つてくれるくらいになりたいです。自分の村を大切にもっと良くなるように自分でできることをしていきたいと思えました。

私は、キャッチフレーズについて提案しました。

議会の様子も詳しくは見たことがなかったのですが、こんなにしっかりとやるんだという驚きも少しありました。公民の授業では、今、地方自治のことについてやっています。なので、今回の中学生議会を生

かして授業に取り組んでいきたいと思えます。また、村の今にはあまり興味がなかったのも、もっと興味を持ちたいと思えました。

こういうことを毎回やるのかと考えると、議会って大変だなと思いました。また、責任を負わなくてはいけないので、メンタル的にも非常に大変だと思いました。公民での学習を自分がきちんとした経験をもつて行うことで、より理解が深まりました。

私は、村のキャッチコピーについて提案しました。クラスメイトの家のほとんどが、第三次産業に従事していて、コロナで大打撃を受けていて、大変だと思いました。最初、何を提案しようか分かりませんでした。

## 提案 尾瀬トマト ガーリックカレー パッケージ変更と はげ盛りについて

私は、尾瀬トマトのガーリックカレーのパッケージ変更について提案しました。

中学生議会は、感じたことのない緊張感が走り、思うように発表ができず、途中で突っかかってしまったり



しました。一年生、二年生の前で発表するのとは違って発表がしづらかったです。しかし、この緊張感と失敗は僕にとつて大きな経験になりました。高校に行くにあたって、面接というのがあります。この経験が面接の時とても役に立つと思います。

この中学生議会では、暗記や資料を出すタイミングなど、たくさん練習をしてきました。他に資料集めや文章作りなど、班のみんなで分担をしてやってきました。これをやったことにより、片品のことをより知ることができました。そして、この経験を生かして、これからの人生に役立てたいと思っています。高校に受かって高校で何かを発表する時、少し楽になると思います。

私は、レトルトカレーのパッケージ変更と、はげ盛りの復活について提案しました。準備の段階では実感が湧かずにいましたが、先日、実際に議会に参加して準備をしっかりとやって良かったと思いました。中学生でこのような貴重な体験ができることは本当にありがたいことだし、私たちは本当に恵まれていると改めて実感しました。

準備の時間を設けてくれた先生方、忙しい中議会を設定し、七班分の提案の応答を考えてくれた村議会の皆様を見て、素晴らしい村だと思いました。そして、議会中は緊張感をもって真剣に取り組み、議会終了後の写真撮影では、和気あいあいとしたメリハリのある大人の皆さんの姿を見て、見習うべきところだと感じたので、これからの私の生活に活かしていきたいです。中学生議会は参加しないと分からないことが多かったのですが、これからも続いていくことを望みます。

私は、はげ盛りの復活について提案しました。まず、ずっと長い間準備をしてきたので、前向きに検討すると聞いた時は少し嬉しかったです。この議会で学んだことは、こういうことをして条例が成り立っているのだと感じ、とても時間をかけないといけないのだと思います。これからは18歳になったら選挙権を行使することになるので、そのために社会を学んで、村に少しでも貢献ができるようにしたいです。そして、少しでも政治に参加できるようにもしたいので、どういこうのを望んでいるか、村、国のためになるのかを見極め考えていきたいと思っています。これからも、世のため人のために行動をしていきたいと思っています。

私は、パッケージ変更・はげ盛りについて提案しました。自分たちで片品をより良くするために行った活動について、遠回しでも却下されることは悲しかったですが、自分たちで自分の村を良くする提案ができたということだけで嬉しく思います。私たちの提案や、他の班の案など、少しでも検討してもらえる案があつて、一中学生の意見でも通してもらえらるかもしれない希望があることが驚きでした。

私は、尾瀬トマトのガーリーツクカレー・はげ盛りの復活について提案しました。私は、中学生や高校生、そして大人たち沢山の人の意見聞き入れることの大切さと、様々な観点からその意見について考え実行することの大変さを、中学生議会を通して学びました。また、理解をするためには、長い時間をかけて準備しないといけないことから、議会とはとても重要で慎重にしないといけないということを学びました。私は普段あまり自分の住む「片品」について調べないから、沢山の事を調べ聞



これからも村に関心を持ち良くていけたらと思います。

私は、尾瀬トマトのガーリーツクカレー・はげ盛りの復活について提案しました。私は、中学生や高校生、そして大人たち沢山の人の意見聞き入れることの大切さと、様々な観点からその意見について考え実行することの大変さを、中学生議会を通して学びました。また、理解をするためには、長い時間をかけて準備しないといけないことから、議会とはとても重要で慎重にしないといけないということを学びました。私は普段あまり自分の住む「片品」について調べないから、沢山の事を調べ聞

題に気づき、私たちに何ができるのかを考えるのが難しいと感じましたが、村について考えるのは、自分たちの生まれ育った所の将来のため、未来の村民たちのためには欠かせないことだと思っています。様々な意見をすることができたと、貴重な体験ができました。

**提案**  
片品村の  
ジェンダーレス化

私は、村のジェンダーレス化について提案しました。中学生議会をやってみて、自分たちが頑張つて用意してきたものを、村長やそれぞれの代表の前で言うのはとても緊張したけど、伝えることができ良かったです。私たちの案が少しでも村の役に立てれば幸いです。みんながこの村のためにできることはなんだろうと、たくさん考えていいいと思います。私はいつか村を出ると思いますが、村を出た後、これが私の村なんだと自慢できるような村を、これから少しずつでも作って行って欲しいと思っています。私もこれから村を出て、いろいろな知識を得て考えが広がっていくと思うので、その知識をこの村に帰ってき





た時に生かせればいいなと思いました。

私は、村内のジェンダーレス化について提案しました。実際に提案して回答をもらって、改めて大事なことだと再確認しました。議場に入るのも議会をするのも、当然、初めてなので、入った時は空気が変わった気がしました。片品をもっと良くするための議会がある場所で行われているので、実際に中学生議会ができたことは、すごく貴重な体験ができました。

この自分たちの提案で、村がより楽しく、過ごしやすくなったら嬉しいと感じます。あと少しで私も政治に参加できるのです、積極的に参加できたら良いです。

私は、片品村のジェンダーレス化について提案しました。私たちがしっかり考えた分だけ、村の方もじっくり答えてくれることが、とてもすごいなと感じました。本当の議会のように、どの人も真剣に取り組んでいるところがいいなと思いました。

色々な班の提案を聞いていて、どの班も村のことをすごく考えているんだな、と感じました。この村がもっと良い村になるように、もっと具体的に、もっと現実的な案が出ればいいなと思います。

この先のこの村を背負っていく人たちが、より良い村へしてくれることを期待して、私にもできることがあるかを、大人になっても探し続けていきたいです。

## 提案 防災と防犯 について

私は、防災と防犯について提案しました。

私は、この提案をして、自分などにも正確に分かるように村長に答えてもらい、議会とはこんな感じで答弁などをするのかと思いつながら、社会ではできなかったことやものを

を学べたので、これも経験になりました。

自分が大人になったら色々あるので、それに活用できそうだなと思いました。班が作られる前より構築した案を、班のみんなと力を合わせて提案できたと思いました。

私は、防災・防犯について提案しました。

自分たちが思うことをしっかり発表することができました。これからの片品を村の偉い人たちと考えるととても良い機会だと思いました。最低でもあと100年ぐらい持つて欲しいと思います。

自分が大人になっても帰って来れるような村であってほしいと思います。なので、この中学生議会という大切な話し合いを、これからもずっと残していくことが大切だと思います。

私は、防災食と防犯について提案しました。

片品村の議会の仕方がよく分かりました。そして、自分たちが考えて提案したことについて、こういうことをする予定など村長が答えて、片品も色々しているんだなと思いました。他の班の人の話を聞いて村長が答えてくれたので、

すごいと思いました。

初めての議会だったのですが、どのようにすればいいか分からなかったけど、しっかりとでき議会のことをよく知れたので良かったです。準備も頑張ってきたので、いい提案ができて良かったです。

## 提案 空き家の 有効活用

私は、学習スペースについて提案しました。

議会ではあまり緊張しませんでした。二人で協力して文を読んだ後の解放感が凄かったです。また、他の班の発表がスムーズで、どの班もいろいろな角度からの質問をしていて聞いていて面白かったです。

片品について、しっかり考えることができて良かったです。

私は、空き家の有効活用について提案しました。

中学生議会を見てみて、色々な分野のグループが片品村を良くするための提案をしていて偉いと思いました。現状の片品村から将来に考えられる片品村について、事前から計画を立て、中学生議会のために皆が発表できるように練

習したのは、とても良い体験をしたと思います。

片品村をより良くするための提案なので、提案したことを生かしてより良い村にしてほしいと思いました。

私は、空き家の有効活用について提案しました。

村内には空き家が多くあり、私たちは、その空き家を村民にとってリラクセスでき、無料で自由に利用できるスペースへと生まれ変えさせるという意図で、このような提案をしました。

私たちは長い間、村に貢献できるような考えてきて、ようやく本番となり堂々と発表することができました。この自分の出生地の貴重な体験をこれから繋げていけるようにしたいです。



第6回臨時議会の主な議案内容及び議決一覧															
議案番号	議案内容	議決結果	議員名	萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	千明道太	北澤佳子	星野吉弥	千明勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	星野栄二	飯塚美明
議案第46号	工事請負契約の締結	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
第7回臨時議会の主な議案内容及び議決一覧															
議案第47号	工事請負契約の締結	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分の承認	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
第8回定例議会の主な議案内容及び議決一覧															
議案第48号	片品村個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	片品村情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	片品村職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	片品村議会議員及び片品村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	片品村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	片品村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	片品村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	片品村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	片品村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	片品村職員の寒冷地手当に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	片品村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	片品村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	片品村フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	片品村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	片品村介護保険条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	片品村職員の再任用に関する条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	片品村奨学資金貸与に関する条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	利根東部衛生施設組合の規約変更に関する協議について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第7号	専決処分の報告について	報告案件		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和4年度片品村一般会計補正予算(第6号)について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第74号	令和4年度片品村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第75号	令和4年度片品村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第76号	令和4年度片品村下水道事業等特別会計補正予算(第2号)について	全会一致 原案可決		○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	-	○

※欠席議員は「-」で、議長は「△」で表示



## 総務観光・産業民教常任委員会

# 村内要望箇所現地視察

昨年に引き続き、村内各行政区で特に緊急性のある箇所について、12月6日に各行政区の代表者と片品村議会議員全員が出席して現地視察を行いました。

視察後に報告会を行い、結果を集計し、要望箇所の早期着手を求めた要望書を令和4年12月21日に千明議長から梅澤村長に提出しました。



Welcome  
ようこそ **有権者**

有権者になるにあたって

群馬県立尾瀬高等学校 千明 楓さん  
自然環境科3年



12月で18歳になり、私も有権者になりました。若者の投票率の低さがニュースなどに取り上げられていましたが、当時は私もあまり政治や投票に関心を持っていない立場でした。しかし、学校での講演や身の回りのメディアを通して、投票することの大切さと、政治が私達の生活に大きく影響するということを学びました。

政治は、現在から未来にかけて私達の生活を左右する大切な存在です。社会をよくするため活動している政治家の方々に直接目にする機会はありませんが、実際に片品村でも、感染症対策や財政の管理、防災、持続可能な資源の活用、そして観光地の活性化など、片品村の住民や観光客のことを想い、村の環境を最大限活用しながら、私達の生活を支えています。世代や職業などが異なる背景を持つ人々が多様な意見を反映することによって、多くの人がとってより暮らしやすい社会を創ることができます。そのため、それぞれが自覚を持って政治活動に目を向け、課題を見直し、理想の政策がどのようなものなのかを一人ひとりが考え、投票に参加することが大切です。私が政治を理解して投票に臨むには、まだまだ勉強が必要です。しかし、少子高齢化社会において私達のような若い世代は、より積極的に選挙に参加しないと声を反映しづらい状態となっています。ですから、普段の生活から少しずつ政治に目を向け、投票を通してより多くの人が暮らしやすくなるように貢献したいと思います。

# 議会活動目録

10月	27日	群馬県町村議会議長会理事会
	28日	小口資金融資幹旋審査委員会
11月	1日	議会運営委員会
	"	第7回議会臨時会
	"	町村議会議員研修会
	3日	文化展表彰式
	4日	戸倉ダム建設促進期成同盟会県知事要望
	7~9日	常任委員会行政視察
	10日	カーボンニュートラル勉強会
	11日	日光市議会・片品村議会連携交流事業 タブレット端末活用研修会
	14日	11月定例議長会
	"	広域圏11月定例議員協議会
"	利根沼田学校組合議員協議会	
15日	川場村議会行政視察来庁	
21日	片品村功労者表彰式	
"	議会運営委員会	
"	全員協議会	
22日	広域圏議会定例会	
"	利根沼田学校組合議会	

11月	24日	中学生議会
	25日	利根東部衛生施設組合議会定例会
12月	2日	降雪安全祈願祭
	"	第8回議会定例会開会
	"	全員協議会(補正予算説明)
	5日	社会福祉協議会理事会
	6日	村内要望箇所議員現地視察
	7日	産業民教常任委員会
	"	総務観光常任委員会
1月	9日	第8回議会定例会閉会
	"	地域おこし協力隊活動報告会
	21日	村内要望箇所議員要望書提出
1月	6日	群馬県議会新春交流会
	"	上毛新聞社新年の集い
	8日	第75回片品村二十歳を祝う会
	11日	片品村消防団出初式
	"	片品村賀詞交歓会
	13日	小口資金融資幹旋審査委員会
	16日	1月定例議長会
	"	広域圏1月定例議員協議会
	19日	群馬県町村議会議長会理事会

発行 片品村議会

責任者 千明 道太

編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)

## かたしなフォトギャラリー



タブレット端末活用研修会



川場村議会行政視察(戸倉ダム建設予定地)

### ○傍聴のお知らせ

**3月議会を傍聴しませんか!**

次回定例会は、**3月2日(木)**の予定です。

一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答は片品村公式ホームページ(HP)の議会録画中継にて動画を閲覧できます。

片品村ホームページURL  
<http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

### ○議会録画中継について

年4回の定例議会開会日の模様を動画(録画)配信していますので、是非ご覧ください。

①片品村ホームページトップ画面右側「片品村議会 会議中継」をクリック

**視聴方法**



☆携帯電話でもご覧いただけます。

### 議会広報編集特別委員会

委員長	北澤 佳子
副委員長	狩野 孝夫
委員	飯塚 美明
委員	星野 栄二
委員	高山 悦夫
委員	萩原 正信

編集委員長 北澤 佳子

新年あけましておめでとうござい  
 ます。皆様にとって本年が幸多き年  
 でありますようお願い申し上げます。  
 様々なことがあった2022年で  
 したが、冬季五輪での日本選手の活  
 躍、また、年末には日本中が沸き立  
 ったサッカーW杯があり、あつとい  
 う間に1年が過ぎ去っていきました。  
 昨年、中学生議会を傍聴する機会  
 をいただきました。片品村の将来に  
 ついて意見を出し合い、商品の売り  
 方やふるさと納税返礼品について、  
 また、村内トイレのジェンダー問題  
 など、いろいろな項目について取り  
 上げていました。一人一人の意見や  
 発想に感心し、課題に向き合う中学  
 生の姿を見て、私たち議員も更に頑  
 張っていかねばならないと感じまし  
 ました。また、議会だよりも少しずつ  
 はありますが成長させていきたいと  
 思います。  
 降雪にも恵まれ、スキーが盛んな  
 片品村にとって良いスタートとなり  
 ました。厳しい寒さが続きますが、  
 健康にお過ごしください。

編集後記